# MR-100L<sub>SP</sub>-V

# ミニラフター®

**KR-10H-L**<sub>□</sub>(パワージブ)



#### 【主要諸元】

クレーン部	7							
	1							
名 称	10ton吊リラフテ	レーンクレーン						
型式	カトウ kR-10H-L	II						
クレーン性	能							
		10 0001 0 5 ( 0+1+1 )						
	5.5mプーム	10,000kg× 2.5m( 8本掛 )						
	9.1mブーム	5,000kgx 4.5m( 4本掛 )						
	12.7mプーム	5,000kg× 4.0m( 4本掛 )						
	16.3㎡ーム	4,000kg× 4.5m( 4本掛 )						
最大定格総荷重	19.9㎡ーム	4,000kg× 4.0m( 4本掛 )						
	23.5㎡ーム	2,300kg× 6.0m( 4本掛 )						
	3.3㎡ブ	1,200kgx 70°(1本掛)						
	5.5mジブ	750kg× 68° (1本掛)						
	ルースターシーブ	1,400kg (1本掛)						
ブーム長さ	5.5m ~ 23.5r							
<u>ジ ブ 長 さ</u>								
最大地上揚程	24.5m(ブーム)							
取八也工物性	30.0m(ジブ)							
主巻	112m / min(	<b>殭</b> 目)						
巻上ロープ速度   一一	104m / min(3厘	目)						
		) 28m / min(4層目)						
フック 诀 焟 ───								
		) 104m / min(3層目)						
ブーム起伏範囲	- 9°~ 81°							
ブーム上げ時間	- 9°~ 81° / 3	Osec						
ブーム伸長時間	5.5m ~ 23.5m	/ 56sec						
旋回速度	2.3min <sup>-1</sup>							
旋回後端半径								
クレーン部	の装置及び構造	告						
ブーム形式	箱型 段油圧伸縮式 (2・3段同時、4・5・6段同時)							
	段式							
ジ ブ 形 式	油圧無段階傾斜式 (オフセット 5°~ 45°)							
*								
ブーム伸縮装置	油圧シリンダ()	②本)及びワイヤロープ併用						
ブーム起伏装置	油圧シリンダ直打	甲式、圧力補償付流量調整弁付						
	シングルウイン	チ2基、油圧モータ駆動・平歯車減速式						
巻 上 装 置		(足踏ブレーキ付、自由降下装置付)						
0 - 11 -	圧力補償付流量語							
旋回装置		遊星歯車減速機付(ネガティブブレーキ内蔵)						
旋回サークル		ノエ						
形式	全油圧H型							
	4,500mm(最大張	出)						
アウトリガ	3,500mm(中間張	出)						
装 置 張出幅	2,500mm(中間張							
1 34	1,640mm( 最縮小							
ワイヤロープ 主 巻	,	(26) 10mm× 130m						
	IMRC 6× \	NS(26) 10mm× 65m						
油圧装置								
油圧ポンプ	可亦プランジャ	+ ギヤ型、可変プランジャ + ギヤ型						
油圧モータ	フェン・リプニン	いい。「「主、「「交」」」」では、「「「主」						
油圧モータ	ア <b>キシャル</b> フラ	フラヤ空 						
旋回用	アイシャルノフ.	/ シャ室						
	マルチプル自動行	复元式(圧力補償付流量調整弁付)						
コントロールバルブ		<u> </u>						
<u>コントロールバルノ</u> シ リ ン ダ	ダブルアクティ:	ソク式						
シリンダ		7万式						
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量	タフルアクティン 150L	7ク式						
シリンダ	150L							
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量	150L	プク式 置・音声警報装置付 ) 作業範囲制限装置						
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量	150L AC& 過負荷防止器							
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量	150L AC& 過負荷防止巻 アウトリガ張出帽	t置·音声警報装置付 ) 作業範囲制限装置						
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量	150L ACS 過負荷防止器 アウトリガ張出幅 過巻防止装置、ド	大置・音声警報装置付 )、作業範囲制限装置 自動検出装置、ブーム自然降下防止装置 ・ラムホールド安全装置、自動ブレーキ装置						
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量	ACS 過負荷防止装 アウトリガ張出幅 過巻防止装置、ド 油圧安全弁、アウ	度・音声警報装置付)、作業範囲制限装置 自動検出装置、ブーム自然降下防止装置 ラムホールド安全装置、自動ブレーキ装置 トリガロック装置、旋回警告灯						
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量 安全装置	150L ACS 過負荷防止器 アウトリガ張出幅 過巻防止装置、ド	度・音声警報装置付)、作業範囲制限装置 自動検出装置、ブーム自然降下防止装置 ラムホールド安全装置、自動ブレーキ装置 トリガロック装置、旋回警告灯						
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量	ACS 過負荷防止装 アウトリガ張出幅 過巻防止装置、ド 油圧安全弁、アウ	度・音声警報装置付)、作業範囲制限装置 自動検出装置、ブーム自然降下防止装置 ラムホールド安全装置、自動ブレーキ装置 トリガロック装置、旋回警告灯						
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量 安全装置	AC& 過負荷防止等アウトリガ張出幅過巻防止装置、ド油圧安全弁、アウ作動油オーバービ	度・音声警報装置付)、作業範囲制限装置 自動検出装置、ブーム自然降下防止装置 ラムホールド安全装置、自動ブレーキ装置 トリガロック装置、旋回警告灯						
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量 安全装置	AC8 過負荷防止等アウトリガ張出幅過巻防止装置、ド油圧安全弁、アウ作動油オーバーヒ油圧式除湿冷暖房	接置・音声警報装置付 )、作業範囲制限装置 自動検出装置、ブーム自然降下防止装置 ・ラムホールド安全装置、自動プレーキ装置 ・トリガロック装置、旋回警告灯 ・トト警報装置						
シ リ ン ダ       オイルリザーバ容量       安全装置       標準装置	AC8 過負荷防止等アウトリガ張出幅過巻防止装置、ド油圧安全弁、アウ作動油オーバーと油圧式除湿冷暖房ドラム回転指示装	接置・音声警報装置付)、作業範囲制限装置 自動検出装置、ブーム自然降下防止装置 ラムホールド安全装置、自動ブレーキ装置 トリガロック装置、旋回警告灯 ート警報装置 装置、時計付AW RMFジオ						
シ リ ン ダ オイルリザーバ容量 安全装置	ACS 過負荷防止等アウトリガ張出幅過巻防止装置、ド油圧安全弁、アウ作動油オーバービ油圧式除湿冷暖房ドラム回転指示装装置	接置・音声警報装置付)、作業範囲制限装置 自動検出装置、ブーム自然降下防止装置 ラムホールド安全装置、自動ブレーキ装置 トリガロック装置、旋回警告灯 ート警報装置 装置、時計付AW RMFジオ						

電動格納サイドミラー、タコグラフ、ドアバイザ

キャリア	7部	
走行性能	F	
最 高 速	度	49km / h
登 坂 能	力	0.60( tan )
最小回転半	12	6.5m (2輪操向)
取小口和一	İI	3.92m( 4輪操向 )
寸法、重	量	
	長	7,395mm
全	幅	1,995mm
全	高	2,815mm
軸	距	2,750mm
### 12h	前輪	1,680mm
	負輪	1,680mm
<u>乗 車 定</u>	員	1) 0051
車両総重		12,985kg
_	軸重	
	軸重	6,410kg
エンジン		
		日野W04C-TV(インタークーラターボ付)
		水冷 4サイクル直列 4気筒 直接噴射式ディーゼルエンジン 3.839L
総   排   気     最   大   出		3.839L 118kW / 3,000min <sup>-1</sup> ( 160PS / 3,000rpm)
		461N m / 1,600min <sup>-1</sup> ( 47kg m / 1,600rpm)
		<u>4614111 / 1,6641111 / (4/кунт / 1,666111)</u> の装置及び構造
	_	グ表直及び構造 2輪駆動(4×2)、4輪駆動(4×4)切換式
トルクコンバータ	_	
		全自動及び手動変速式
変速段		前進4段 後退2段(Hi/Low切換付)
車 軸 形	<del>,†</del> ;	全浮動式 殺滅速機付(前軸、後軸共)
# to 1	前軸	テーパリーフスプリング式
戀 栄 万 式 <del> </del>	<b>養軸</b>	テーパリーフスプリング式
	±	2系統空気油圧複合式 4輪ディスクブレーキ
-/ + * =	註車	空気式・推進軸制動内部拡張式
ブレーキ装置	#1	トルコンロックアップ連動排気ブレーキ
	補助	作業用補助制動装置
Ŧ	形式	全油圧式パワーステアリング
ステアリング装置	- K	前 2輪、後 2輪、前後輪独立
	ר	(リヤステ自動ロック機構付)
タイヤサイズト	_	275 / 80 R22.5 149 / 146J
1		275 / 80 R22.5 149 / 146J
燃料タンク容		250L
安全装置	i	
		緊急用かじ取装置、後輪ステアリング自動ロック装置
		ミスシフト防止装置、ブレーキ液漏警報装置
		作業用補助制動装置、オーバーラン警報装置

#### 運転および作業に必要な資格



ク	レー	ン	の運	転	移動式クレーン運転免許
玉	掛		作	業	玉掛技能講習
車	両	の	運	転	大型特殊自動車運転免許

クレーンに関しては、労働安全衛生法が適用されます。 所轄の労働基準監督署に設置報告してからお使いください。 道路を通行する場合は、車両検査に合格した状態で通行してください。

連路を通19 の場合は、単画検査に占格した状態で通10 C \ だされ。 走行時はフックを所定の位置に格納してくだされ。

本機の使用にあたっての注意事項は、取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

本カタログに記載されております性能ならびに仕様は、改良などによりお届けいたします製品と異なる場合があります。また、仕様は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

### 定格総荷重表 -

										5.	ām-	2	3.5	mブ	<b>`</b> — .	厶								
	( 4.5m)						( 3.5m)					☐ <b>-</b> [( 2.5m)					1.64m)							
作業	アワ	ナトリ	ガ最力	大張出	(全周	)	アウトリガ中間張出(側方)						アウトリガ中間張出(側方)					アウトリガ最縮小張出(側方)					5)	
半径	5.5m	9.1m√7	12.7m	16.3m	19.9m	23.5m	5.5m	9.1m	12.7m	16.3m	19.9m	23.5m	5.5m	9.1m	12.7m	16.3m	19.9m	23.5m	5.5m	9.1m√7	12.7m	16.3m	19.9m	23.5m
	ブーム				ブーム	ブーム	ブーム				ブーム	ブーム					ブーム	ブーム				ブーム	ブーム	ブーム
	10.00						10.00								5.00					5.00				
2.0	10.00			4.00			10.00			4.00					5.00					5.00				
2.5	10.00						10.00			4.00					5.00				3.70		3.50			
3.0		5.00		4.00				5.00			4.00				5.00				2.70			2.55		
3.5		5.00				2.30		5.00			4.00				3.80				2.10			2.05		
4.0	5.20	5.00				2.30	5.20				4.00		3.20		3.00				1.60				1.65	
4.5		5.00	4.55		3.70			4.80			3.70				2.40							1.25		
5.0		4.40	4.10			2.30		3.85			3.40			2.05		2.15						1.00		
5.5		3.95	3.70			2.30		3.20			3.10			1.70				2.00				0.80		
6.0		3.55	3.35		2.85			2.70			2.85			1.40								0.65		
6.5		3.15						2.30			2.60			1.20		1.30				0.30	0.30	0.50	_	
7.0		2.80	2.80					2.00			2.30			1.00								0.40	0.50	0.55
8.0		2.50 (7.5m)	2.30	-		1.75		1.75 (7.5m)	1.45		1.80			0.85 (7.5m)			0.95							
9.0			1.90		1.80					1.30					0.40			0.75						
10.0			1.55							1.00		1.25			0.18	0.40		0.60						
11.0			1.20	1.45		1.25			0.60	0.80		1.05				0.25	0.35							
12.0				1.20	_	_				0.60							0.20	0.30						
13.0				0.95		1.05				0.45		0.70												
14.0				0.80		0.95				0.30		0.55												
15.0				0.70 (14.5m)		0.85				0.25 (14.5m)		0.45												
16.0						0.70						0.34												
17.0						0.60					0.17													
18.0					0.45	0.50						0.17												
19.0						0.42																		
20.0						0.35																		
21.0						0.30																		
22.0						0.25																		
危険角度		_	_					—	_	_		<i>30</i> °			20°	40°	<i>46</i> °	<i>54</i> °		25°	<i>52</i> °	<i>59</i> °	<i>64</i> °	<i>68</i> °
標準フック								10tフック								フック			10tフック					
フック質量			7	5kg					7	5kg					7	5kg					75	5kg		
巻掛本数	8			4			8			4			8			4			8			4		

(単位 ton)

	23.5mブーム + 3.3mジブ																			
	( 4.5m)								( 3.5m)						1 ( 2.5m)					
	アウトリガ最大張出(全周)							アウ	トリガ	中間張	出(側	方)			アウ	トリガ	中間張	出(側	方)	
ブーム	オフセ	:ット 5°	オフセ	ット 25°	オフセ	ット 45°	ブーム	オフセ	ツト5°	オフセ	ット 25°	オフセ	ット 45°	ブーム	オフセ	:ット 5°	オフセ	ット 25	オフセ	ット 45°
角度	作業半径	荷重	作業半径	荷重	作業半径	荷重	角度	作業半径	荷重	作業半径	荷重	作業半径	荷重	角度	作業半径	荷重	作業半径	荷重	作業半径	荷重
(°)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	(°)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	(°)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	( m)	(ton)
81	3.6	1.20	4.7	1.00	5.4	0.80	81	3.6	1.20		1.00	5.4	0.80	81	3.6	1.20	4.7	1.00	5.4	0.80
75	6.5	1.20	7.5	1.00	8.1	0.80	75	6.5	1.20		1.00		0.80	<i>75</i>	6.5	1.20	7.5	1.00	_	0.80
70	8.8	1.20	9.7	1.00	10.2	0.80	70	8.8	1.20		1.00		0.80	73	7.5	1.20	8.4	1.00	8.9	0.80
65	11.1	1.00	11.8	0.88	12.2	0.75	66	10.6	1.04		0.90		0.75	71	8.3	0.96	9.2	0.84	9.7	0.80
60	13.2	0.88	13.8	0.78	14.1	0.69	63	11.9	0.82		0.74		0.72	65	10.8			0.38	12.1	0.35
55	15.1	0.76	15.6	0.68	16.0	0.63	60	13.0	0.63		0.58	_		危険角度	6	4°		4°	6	4°
53	15.8	0.66	16.4	0.61	16.6	0.61	55	14.9	0.35		0.34	15.8		標準フック				フック		
50	16.8	0.53	17.4	0.50	17.6	0.50	51	16.3	0.20		0.20			フック質量			20	)kg		
46	18.1	0.39	18.6		18.8	0.36	危険角度	5	50°	_	50°	5	50°	巻掛本数				1		
39	20.2	0.20	20.6				標準フック				フック								, 114	<b>ж</b> , ,
危険角度								フック質量     20kg       巻掛本数     1											(単	位 ton)
標準フック											1									
	フック質量 20kg																			
巻掛本数				1																

								23.	また。 ででで	ř— 1	<u>ረ</u> +	5.8	ず ご	ブ						
	( 4.5m)								( 3.5m)						1 ( 2.5m)					
	アウ	トリガ	最大張	出(全	周)		アウトリガ中間張出(側方)							アウトリガ中間張出(側方)						
ブーム	オフセ	ット 5°	オフセ	ット 25°	オフセ	ット 45°	ブーム	オフセ	ット 5°	オフセ	ット 25	オフセ	ット 45°	ブーム	オフセ	:ット 5°	オフセ	ット 25°	オフセ	ット 45°
角度	作業半径	荷重	作業半径	荷重	作業半径	荷重	角度	作業半径	荷 重	作業半径	荷重	作業半径	荷重	角度	作業半径	荷重	作業半径	荷 重	作業半径	荷 重
(°)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	(°)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	(°)	( m)	(ton)	( m)	(ton)	( m)	(ton)
81	4.1	0.75	5.9	0.60	7.1	0.50	81	4.1	0.75	5.9	0.60	7.1	0.50	81	4.1	0.75	5.9	0.60	7.1	0.50
75	7.4	0.75	9.0	0.60	10.0	0.50	<i>75</i>	7.4	0.75	9.0	0.60	10.0	0.50	<i>75</i>	7.4	0.75	9.0	0.60	10.0	0.50
68	11.0	0.75	12.2	0.53	13.1	0.46	68	11.0	0.75	12.2	0.53	13.1	0.46	71	9.5	0.75	10.9	0.56	11.9	0.47
65	12.3	0.68	13.5	0.51	14.3	0.45	65	12.3	0.68	13.5	0.51	14.3	0.45	69	10.4	0.60	11.8	0.50	12.7	0.46
60	14.5	0.58	15.7	0.47	16.3	0.43	62	13.7	0.62	14.9	0.48	15.5	0.43	66	11.7	0.39	13.0	0.34	13.9	0.31
55	16.6	0.50	17.6	0.43	18.2	0.40	60	14.6	0.50	15.7	0.46	16.3	0.42	危険角度	6	5°	6	5°	6	5°
50	18.5	0.44	19.4	0.39	19.8	0.36	<i>55</i>	16.4	0.30	17.5	0.27	18.1	0.25	標準フック			1.4tフ	リック		
48	19.2	0.38	20.1	0.35	20.4	0.35	53	17.2	0.22	18.3	0.20	18.7	0.20	フック質量			20	kg		
46	<i>46</i> 20.0 0.32 20.8 0.30 21.0 0.3							5	2°	5	2°	5	2°	巻掛本数			•	1		
41	21.5	0.20	22.2	0.20			標準フック 1.4tフック													
危険角度	b険角度 40° 40° 45°							フック質量 20kg												
標準フック	標準フック 1.4tフック							巻掛本数 1												
フック質量	フック質量 20kg																			
巻掛本数																				

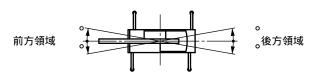
#### アウトリガ不使用時

<b>J</b> □	<u> </u>	00						
アウトリガ不使用	用 定置つり・走行	つり ( 2km/h未満 )						
作業半径	前方つり( 左右各 1° 以内 )							
( m)	5.5mブーム	9.1mブーム						
1.5	1.00							
3.0	1.00	0.50						
4.0	1.00	0.50						
7.5		0.50						
危険角度								
標準フック	10tフ	'ック						
フック質量	75	5kg						
巻掛本数		4						
		(単位 ton)						

(単位 ton)

#### ●アウトリガ使用時

- 1. 定格総荷重表は、水平堅土上において機体を水平に設置した状態での保証できる最大荷重を示しており、フックその他のつり具等の質量を含んだ値です。
  - □□□□部分は機械の強度によって定められ、他は機体の安定度によって定められています。
- 2. 作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
- 3. ジブの作業半径は23.5mブームにジブを装着して作業を行った値を示し、その他のブーム長さでのジブ作業はブーム角度だけを基準として行ってください。
- 4. アウトリガ最縮小張出ではジブ作業を行わないでください。
- 5. アウトリガ張出状態によって側方域でのつり上げ性能は異なります。従って各々の張出状態に おける定格総荷重表で作業を行ってください。前方、後方域でのつり上げ性能はアウトリガ最 大張出の定格総荷重表で作業を行ってください。



アウトリガ	張出状態	中間張出(3.5m)	中間張出 ( 2.5m)	最縮小張出
領域	0	25	15	3

- 6. ルースタシーブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取付けられているつり具等の質量を差引いたものとし、かつ限度を1,400kgとします。
- 7. ブームの長さが規定の長さをこえる場合には、規定の長さか、一段上のブーム長さかのいずれか、小さい方の定格総荷重で作業を行ってください。
- 8. ジブを装着したままでブーム作業を行う場合は、定格総荷重より、つり具等の質量の他に 750kg を差し引いてください。
  - なおこの場合、ルースタシーブは使用しないでください。
- 9. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
- 10. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準フック以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ 体当たり 12.7kM 1.3tf)を限度としてください。
- 11. ジブ使用時、ジブオフセット角度が規定の角度をこえる場合には規定の角度より一段大きいジブオフセット角度の定格総荷重で作業を行ってください。
- 12. 自由降下作業は原則としてフックのみを降下する時に使用しますが、やむをえずつり荷を自由降下する場合には定格総荷重の 20%までを限度とし急激なブレーキ操作は絶対にさけてください。
- 13. クレーン作業は風速 10m/ secまで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きい荷重を取扱う場合は特別な注意を払ってください。
- 14. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、及び正しい使い方を行わなかった場合は転倒又は破損します。この場合本機の保証はいたしません。

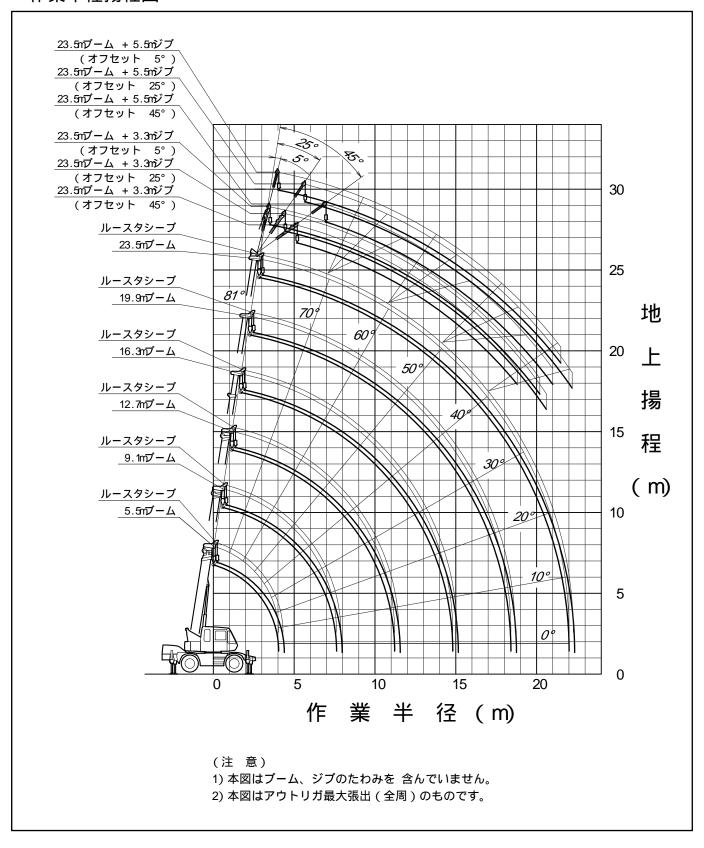
#### ●アウトリガ不使用時

1. 定格総荷重表は、水平堅土上においてタイヤの空気圧が規定圧の場合に本機の保証できる最大荷重を示しており、フックその他のつり具等の質量を含んだ値です。

「タイヤ規定空気圧: 875kPa(8.75kg/m³)]

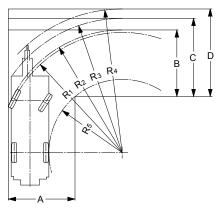
- 2. 作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準 として作業を行ってください。
- 3. 側方つりはできません。前方つりのみで作業を行ってください。
- 4. ルースタシーブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取り付けられているつり具等の質量を差し引いたものとし、かつ上限を1,400kgとします。
- 5. ブーム長さ 9.1mをこえるブーム作業、ジブ作業、自由降下作業は行わないでください。
- 6. ブーム角度を 65°以上にすると危険ですので、 65°以上には起こさないでください。
- 7. 定置つり作業はパーキングブレーキを効かせ、同時にブレーキロックを掛けた状態で行ってください。
- 8. 走行つりはシフトレバーを <br/>
  徳にし、ハイ・ロー切換スイッチをローレンジにして行ってください。
- 9. 走行つりは荷が振れないように地面近くに保持し、 2km/ h未満にて行ってください。特にコーナリング、急発進、急制動に注意してください。
- 10. 走行つり中にはクレーン作業は行わないでください。また、必ず旋回ブレーキを掛けてください。
- 11. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準フック以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ 体当たり 12.7kN(1.3tf)を限度としてください。
- 12. クレーン作業は風速 10m/secまで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きい荷重を取扱う場合は特別な注意を払ってください。
- 13. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、及び正しい使い方を行わなかった場合は転倒又は破損します。この場合本機の保証はいたしません。

#### 作業半径揚程図・



#### 最小直角通路幅

#### 2輪ステアリングで右折する場合



•R₁=6.50m

(最小回転半径)

•R<sub>2</sub>=6.60m

(最外輪端回転半径)

•R<sub>3</sub>=7.11m

(車体回転半径)

•R<sub>4</sub>=7.60m

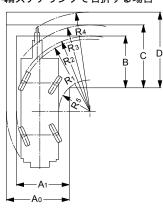
(ブーム先端回転半径)

•R₅=3.88m

(車体内側回転半径)

- ·A=3.53m (入口通路幅)
- ·B=3.53m (車輪出口通路幅)
- ·C=4.14m (車体出口通路幅)
- ・D=4.64m (ブーム先端出口通路幅)

#### 4輪ステアリングで右折する場合



•R₁=3.92m

(最小回転半径)

•R<sub>2</sub>=4.02m

(最外輪端回転半径)

•R<sub>3</sub>=4.57m

(車体回転半径)

•R₄=5.25m

(ブーム先端回転半径)

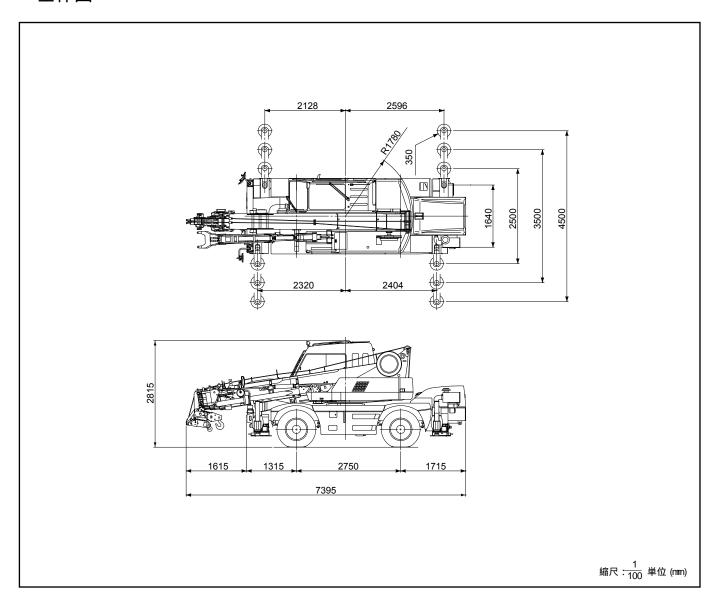
•R₅=1.66m

(車体内側回転半径)

- ·A<sub>0</sub>=3.33m (車体入口通路幅)
- ·A<sub>1</sub>=2.80m (車輪入口通路幅)
- ·B =2.75m (車輪出口通路幅)
- ·C =3.33m (車体出口通路幅)
- ·D =4.01m (ブーム先端出口通路幅)

(注) 上記の数値は計算値です。

#### 全体図



本カタログに記載されております性能ならびに仕様は、改良などによりお届けいたします製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。





## 紫加藤製作所

本 社 東京都品川区東大井 1丁目 9番 37号 ☎ 03(3458)1111番(大代表) ® 140-0011 ホームページアドレス http://www

http://www.kato-works.co.jp C01091

6.2001-4000(TI)1

お問い合わせは...